

○日本幼稚園協會夏季

講習會

既報の通り本會主催の「幼稚園に於ける唱歌」の講習は七月二十五日から二十九日迄開かれました。講習をうけられし方々は百五十餘名、誠に盛會でありました。酷暑の際にもかゝはらず講師の先生方が誠に熱心に御指導下さいましたので、一同、時の立つのもわすれて日暮までいそしむ日もありました。講習でいたしました歌曲の主なもの次は次の様でした。

- 一、ニコ／＼／＼の歌、二、靴が鳴る、三、お庭の草花、四、汽車、五、こん／＼小山の六、お山のお猿、七、金魚、八、ブランコ、九、すゞめ、十、ぼつぼのお家、十一、正直爺さん、十二、雀のお宿、十三、十五夜お月さん、十四、白い／＼お月様、十五、おもちつき、十六、お月様、十七、あられ、十八、ほうほう螢。

人は可成りの教育を有し、高等女學校位は卒業した人々で、保母になつて其の道に一生を捧げたいからといふ人や、労働者階級を主題とした小説を創作して見たいからその材料を得る爲に保母になりたいと云ふ人や、また確乎たる目的もなく都會へ憧れて上京したい爲めの口實にかう云ふ事を言ひ送る人や澤山ありますので、今井職工長は一々私の方では採用しないからと云つて、父兄の目に觸れるやうにわざと端書で返事を出してやるさうです。若い婦人がしつかりした保證人もないのに上京するのは全く危険な事であります。しかし中には父親がわざ／＼端書を以て上京して来て、娘の希望やみ難いからとて、切に願ふ人もあるさうです。何しろ地方の處女の中には目に見えない潮の流れがどし／＼とおしよせて來てゐるらしい事を知りました。

暑い日の一日の參觀でありましたが、色々の事を得ました。この雑誌の愛讀者の方々も、お宅の御近所の託兒所をおひまの折參觀されたら御感想をお記しくだされば幸と存じます。

# ○今秋開催二市聯合保育會提 さるべき二市聯合保育會提

## 出問題

### 一、京都市提出問題。

#### (一) 談話題。

「發育異常の園兒に對する特別取扱に就て」。

説明。

園兒中の發育異常のものに對し或は特別組を編成し或は個別的の取扱を以て其缺陷を補ふ必要あるべし尙又特殊の性癖矯正に就ても同様の必要あるべし是等の方法に關し意見若くは經驗談を承はりたし。

#### (二) 協議題。

「各市に存する託兒所を本會に加入せしむるの可否」。

説明。

現今社會の一として各市共に託兒所の設置せらるゝもの漸次多きを加ふるが如し、幼稚園の保育事業と託兒所の事業とは多少其目的と範圍とを異にするものあるも兩者の間に共通の點も亦尠からず従つて相互の間に密接なる聯絡を保ち

研究を共にするは時勢の要求上必要ありと認む是れ本題を提出する所以なり。 以上

### 一、大阪市提出問題。

幼稚園に於ける動物飼養及植物栽培の狀況竝に夫れに對する將來の希望を承りたし。

説明。

大都會の幼稚園に於ては幼兒をして自然に親しましむるに多大の苦心を要すべし。茲に於て現在各幼稚園に於て如何なる種類の動物を如何なる方法を以て飼養し且つ如何なる種類の植物を如何なる方法を以て栽培されつゝありや。

夫等と幼兒とは如何なる關係を有するや又將來夫等に關し如何なる希望を有せらるゝや詳細に承らんごす。 以上

### 一、神戸市提出問題

(昨年保留となりし問題)

幼稚園時代の教育に於て主力を注ぐべき點如何。

説明。

フレーベル先生は其崇高なる理想の實現に御努めなさいました、モンテッソリー女史は感覺教育を幼兒教育の基礎と致されたと思ひます、是

等の諸先生と時代も進み土地も違つて居る現代の我邦の幼稚園の教育は又其れに應じて新らしい教育の目的を考へ其の點に主力を注ぐべきではありますまいか

現代の社會の狀態最近に諸學者の多くの研究によつて明かにせられた幼児心身の發育狀況及皆さんの實際上の御經驗などを基礎として御立論あらんことを切望します

以上

## ○保姆待遇問題について

### の運動

保姆の待遇の事につきましては、疾うより考へられて居た問題でこの事は既にかの第一回全國幼稚園關係者大會に於て建議せられて居りました。そこで日本幼稚園協會に於てもそのころから倉橋氏は本會主幹として、幾度となく當局に陳情されました、其後評議員の藤井氏は引續きこの運動のために奔走して居られますが、未だこの機運に達せぬためか實行する所まで運んで居りません。關西地方に於てもこの問題は極めて熱心に攻究せられ望月氏のごときは幾

度か本會に獎めてその活動を促されたのでした。而して今回、いよ／＼京阪神三市聯合して代表員を選び目的貫徹に力をつくす事となりました。即ち京都豊園幼稚園主任姫宮梅野、大阪江戸堀幼稚園主任勝たけ子、神戸幼稚園長望月クニ子の三氏は今夏休暇を利用して該問題のために上京されました。本會の藤井評議員、坂内幹事と會合種々打合せの上、『市町村立幼稚園保姆に年功加俸を給せられん事』を當局に向つて歎願する事に決しました。即ち三氏は、去る八月二十六日、文部大臣を訪問し、面會の上充分なる了解を得たので、次いで南次官、赤司普通學務局長にも長時間に亙つて委しく陳述致しました。その結果は當局とてもこれは當然實行すべき問題でありながらそのためには法令の改正も必要でありまた種種の實行難がともなつたために、今日に延びたので、この上充分の研究を重ねて來年度の豫算には出す事にする」といふ迄の諒解を得たのであります。此の運動にあたり乗杉督學官(本會評議員)は特に力を添えられ種々の便宜を與へて下さいました。本會は代表者となつて親しくこの衝にあたられた三氏の勞を謝し、當局が一層この上ごも、この問題の解決のためには奔走して下さる事を希望して居ります。